

数学は”暗記”である！

▶ 2024.1.21(日)

勉強のしかたがわからない

「勉強のしかたがわからない。」

数学の苦手な生徒の多くから聞かれる言葉です。

だから、「数学の勉強のしかた」に関する”記事”が、雑誌、SNSなどに氾濫しています。もっともらしいことが書いてあるので、一度はやってみた人も多いことではと思いますが、そのやり方をずってやっている人もまたあまりみられないようです。

そもそもだれにもあてはまる勉強のしかたなどというのは存在しないのですから、ある人が”いい”と思っても、他の人にはいい方法であるとは限りません。

「受かった人のノートの取り方」とか、「参考書の使い方」とか、「勉強時間の取り方」等々。

これらの枝葉末節的なノウハウに共通なことは、少しややこしいということです。

確かにいいのかもしれませんが、やり方がややこしい。

続けるには、少々根気が必要になります。

だから、続かないのです。

では、数学の得意な人はどんな勉強をしているのか、ということが気になります。

結論から言えば、ひとそれぞれで、み～んな違います。

同じように見えても、そのやり方を支える知識とか【考え方】などがひとりひとり違います。

数学が得意になる方法はある！

でも、数学が得意になりたいですね。

だから、塾で勉強しているのでしょから…

実は、数学が得意でなかった人でも、あるときから急に得意になっていく人が存在することも確かです。彼(彼女)に何が起こった起こったのでしょうか。

ひところ、”数学は暗記だ！”というフレーズが流行ったことがあります。

精神科医の和田秀樹氏が唱えた言葉です。

同名の本が出版されています。（「数学は暗記だ！受かる青チャートの使い方」2015年）
灘高→東大医学部→精神科医という同氏の経歴が、この言葉に重みを与えております。

逆に、数学は自分で考えて答えを出すことにこそ意義があるという意見も聞かれます。

しかし、この意見が変なのは、「自分で考えて答えを出す」ことのできない人は”アウト”であるという点です。数学はあきらめてくださいね、と言っていることと同じです。

自分で考えて答えが出せないから、数学が苦手なのです。

これは、数学の得意な人の側の考え方というか見方です。

とにかく、“解法”を暗記しまくる

数学が苦手な人は、とにかく解答を暗記して下さい、と言われたらどうです。

数学が苦手な人でも、いますぐにできます。

そして、「その暗記した問題」は、かならず解けるようになります。

これ以上に効果のなる簡単な学習法はありません。

だから、数学の苦手な人は、解答を覚えまくりましょう。

という、絶対に批判されます。

数学は考える教科です、応用力が身につけません、と。

だから、…

考えることのできない人もいるのっ！

応用力などいつている以前の話なのっ！

そんな人はどうしたらいいのでしょうか？

そういう人に対する答えなどありません。

「丸暗記」とはどんな知的作業か

「丸暗記」しても応用力が身につけません、というのが暗記数学の批判者の常套フレーズです。

しかし、しかしですよ。

A4判1頁の解答を”丸暗記”などできるものでしょうか。

英単語を覚えるのと違うのです。

絶対にできません。

必ず、1行1行の意味を理解し、全体の論理的な流れを理解し、それを自分で組み立てながら覚えていきます。そうしないと覚えられないからです。

つまり、丸暗記するには、その解法の深い理解が必要なのです。

数学の得意な人は、その理解ができているから、覚える必要がないのです。

いや、そうではなく、覚えてしまっているのです。暗記が終わっているのです。

解法を覚えられない原因は？

ただ、覚えられない、という人がいることも確かです。

その場合は、必ずその覚えようとしている参考書の”解答”に問題があります。

解説を読んでも、何をどんな論理で解いているのが、さっぱり理解できない解説というものもあります。そんなものを使っている覚えられないわけがありません。

「一見して全体の論理の流れが分かること、1行1行の論理の進め方が分かること」

この2点をそなえた”解答”でなければ、覚えることは困難です。

多くの参考書はこのように”親切”には書かれていません。

(筆者の能力というよりも、参考書を発行する経費の問題ですが…、できるだけ少ないスペース

に多くの問題を詰め込まなければならないから、「こんなことはあたりまえだろう」のような説明は省いてあります。ただし、数学のできる人からみた場合の話ですが…)
だから、解答を暗記できないし、いつまでたっても問題が解けるようにはならないのです。

暗記に適した教材というのが必要です。

まとめ

結論です。

数学が苦手な人は、

勉強のしかたなど気にする必要はありません。

ただ、ただ、問題の解き方をどんどん覚えていって下さい。

忘れてもいいから、覚えていって下さい。

忘れた数より、1つだけ多く覚えていって下さい。

1年で365題の新しいことを身につけることができます。

脳は雑然とした記憶を、関連する知識の体系に整理してしまう性質があるそうです。

この作業は寝ている間に行われるそうです。

そうだとすれば、覚えまくって、ぐっすり寝ることで、数学が得意になるはずです。

数学が苦手な人は、おうおうにして、ぐっすり寝ているが、覚えまくっていないので、得意にはなれないのです。

数学が苦手な人ほど、”解答を覚えること”が何か悪いことのように思いがちです。

しかし、今の困難を突破するには、とにかく解法を覚えまくって下さい。

覚えやすい教材を使って…

という超重要な条件が付きませんが…。

数専ゼミの”暗記”しやすい教材を紹介しましょう。

①一見して全体の論理の流れが読み取れる

②1行1行の論理の進め方がよく分かる

ことが実感できるはずです。



◀●■【 まちがいをさせない教材 】■●▶

【高校数学A・独立な試行の確率】

No. 2 **2** 反復試行(その1) ■ 反復試行の確率 ■

■上の教材は、「教育エッセーMENU Essay_616, コンテンツ欄」よりリンクできます。

➔ Link ▶ | [教育エッセーMENU](#) |

■演習問題は、数専ゼミ・山形・東原教室で個人指導をしております。いつからでも受講できます。